

提出された議案

令和3年12月定例会では議案33件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

- 予算議案 6件
 - ・令和3年度福岡県一般会計補正予算(第15号)
 - ・令和3年度福岡県県営埠頭施設整備運営事業特別会計補正予算(第1号)
 - ・令和3年度福岡県工業用地造成事業会計補正予算(第1号)
 - ・令和3年度福岡県一般会計補正予算(第16号)
 - ・令和3年度福岡県一般会計補正予算(第17号)
 - ・令和3年度福岡県流域下水道事業会計補正予算(第1号)
- 条例議案 11件
 - ・福岡県職員の特殊勤務手当に関する条例及び福岡県職員の給料の調整額に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県建築都市関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県警察の組織及び定員に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県警察関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県公立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 専決処分したものについて報告し承認を求める議案 1件
 - ・財産の取得
- 工事請負契約の締結に関する議案 6件
- 人事に関する議案 2件
 - ・人事委員会委員の選任について
 - ・公害審査委員の任命について
- その他の議案 7件
 - ・当せん金付証券の発売について
 - ・福岡県立あまぎ水の文化村の指定管理者の指定について
 - ・福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園及び福岡県立北九州勤労青少年文化センターの指定管理者の指定について
 - ・福岡県平尾台自然観察センターの指定管理者の指定について
 - ・福岡県立四王寺県民の森等の指定管理者の指定について
 - ・都市公園の指定管理者の指定について
 - ・旧福岡県公会堂貴賓館等の指定管理者の指定について

可決された意見書・決議

- 可決された意見書
 - 女性と子どもの自殺増を受け対策を求める意見書
 - シルバー人材センターの安定的事業運営のための適切な措置を求める意見書
 - HPVワクチンの積極的勧奨の再開に関する意見書
 - ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書
- 可決された決議
 - 十中大雅副議長の職責放棄に関する決議

代表質問を終えて

自民党県議団

12月定例会では服部誠太郎県政で初の当初予算となる「令和4年度当初予算編成の基本方針」について質しました。並行して次の新型コロナウイルス感染症拡大に備え、第5波時の県の対応の総括について質しました。

知事からは、令和3年4月以降重症病床も含め2倍近くに増床し、入院の必要な方のための体制強化及び宿泊療養施設確保と24時間体制の医師や看護師の常駐、そして消毒方法の改善等の取り組みを行い、ピーク時の稼働率を上げて病床への負担を大幅に軽減させることができ、これらの取り組みを強化する事でこれからの感染拡大に備えるとの回答を得ました。

また、新福岡県立美術館については、県民の皆さまに親しまれ国内外に誇れるものとするよう質しました。知事からは、隣接する日本庭園が一つの絵画となり美術館の価値を高めるとともに、来館者が庭園を訪れる相乗効果を発揮するため、茶室に必要な改修を行い、茶会館の建て替えを検討していくとの回答を得ました。

地域の方々の現状を鑑み、農業者や漁業者の方々が深刻な影響を直接受ける原油価格高騰対策について質しました。知事も大変厳しい状況であるとの認識で、県としてハウスなどの省エネ施設の整備支援や漁港整備及び省エネ型漁船エンジン・ノリ乾燥機の導入を支援し、生産者の経営安定に努めるとの回答を得ました。

この他、北九州空港の機能強化、苅田港や新松山地区の今後の取組、SDGsに向けた取組、保健所の機能強化、鳥インフルエンザへの対応、教育問題等、福岡県の未来のために幅広く質問し、回答を得ました。

民主進歩党県議団

人財育成、ジェンダー平等など服部誠太郎知事の選挙公約を次期総合計画、来年度予算編成、行政改革大綱へどう反映するか方針を質したところ、それぞれに盛り込む旨の回答を得ました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、今後の感染拡大に備え、医療スタッフを含めた医療体制の整備、自宅待機者への支援、ワクチン接種を推進することともに、保健所職員の過重労働の軽減に努めることが示され、さらに、コロナ禍で疲弊した地域公共交通機関支援のため、広域の旅行需要の喚起を目指すことや非接触型決済機器(ICカード)導入を促す旨を表明されました。

知事は、新県立美術館については、その独自性の発揮と福岡市美術館との連携を目指す他、若手芸術家の活動の場の拡大を検討すること、児童相談所については、職員の専門性の向上を図り、一時保護所での子ども学習指導を工夫することが示されました。また、地球温暖化に対し、気候変動に合わせた農業・漁業支援、さらに電力の広域融通を可能とする地域間連系線の拡充と再生可能エネルギーの普及拡大に努めるとされました。

男性職員の育児休業取得促進のため、知事、教育長、警察本部長から職場環境整備を進めるとの回答を得るとともに、超過勤務が多い教員の勤務時間管理の厳格化と学校行事の精選、部活動指導員の導入などに努めると教育長が発言されました。また、知事からは、36協定が締結されていない私立小中学校への指導を行う旨の発言を得ました。

緑友会

今回の代表質問は、①コロナ禍での予算編成と財政問題、②民主主義に関わる諸課題、③その他の県政課題の3本柱で構成しました。

①に関しては、コロナ対策で予算規模が大きく膨張する中、どのような方針で予算編成を行うのか、また巨額の財政負担が今後県財政にどのように影響していくのか、県民の関心が高い分野と考え、服部誠太郎知事に質しました。知事からは、予算編成について、「施策の必要性や費用対効果等をしっかりと検証したうえで、限られた財源を効果的に活用」していく、財政負担について、「計画的に財政健全化を進め、地域経済の立て直しにより税源を涵養し、基金残高の回復」を図るとの答弁がありました。

②に関しては、先般行われた総選挙に関連し、投票率や期日前投票、選挙公報など、選挙が民主主義の重要な基盤であるとの観点から、選挙管理委員長に質問。また、将来の主権者を育てる観点から、主権者教育や法教育についても質問。さらに、本年4月に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることから、県の取り組みを質しました。

③に関しては、多岐にわたるため、限られた時間内で構成を考え、緊急的課題である鳥インフルエンザ対策、交通安全対策(高齢運転や通学路)、コロナ禍で苦しむ中小企業支援、ICT教育と子どものネット利用問題、列車内犯罪対策などについて取り上げました。今後も、県政発展のため、重要な県政課題について掘り下げていきたいと思えます。

公明党

今回の代表質問では、令和4年度の予算編成に向けて、服部誠太郎知事の政治姿勢を問うことに重点を置きました。

福岡県下の20歳から64歳の福岡県民5131人の方への労働環境に関するインターネット調査をもとにした質問では、コロナ禍の影響を特に受けた宿泊業者や飲食サービス業の実態に対しての支援を質するとともに、女性の皆さんの職場環境でのハラスメントの実態や子育て支援の脆弱さなど、職場におけるご苦労を多少なりとも伝えられる内容の質問になったのではないかと考えています。

また、知事がこの4年間で取り組もうとしている抱負に対し、人財育成の地元大学での具体的な取り組みなども紹介することができました。さらに、少子化が進む中で、コロナ禍での結婚減少も拍車がかかっていることから、県が取り組む解決策の具体的な提案を引き出すなど極めて重要な課題について取り上げました。教育長に対しては、夜間中学についての質問を行いました。

知事並びに教育長からは大変丁寧な答弁があり、両者ともに新進鋭の息吹が感じられました。

今回、未曾有のコロナ感染に打ち勝ち、ポストコロナの本県の進むべき道をさらに開く県執行部の決意をもちたいと思えます。

ますます公明党県議団一丸となって県政発展に進みましょうと心を固めた次第です。